

# 東京の博物館めぐりー41

## 渋谷区ー1



平野 武宏

今回は渋谷区の博物館めぐりです。(2020年12月に訪問)区内にある博物館(記念館・資料館・展示館等の総称とします)から寅次郎の好みで選び、独断と偏見の紹介と感想です。詳細を知りたい方は各博物館のホームページをご覧ください。入場料の記載なしは無料です。最寄り駅は代表例と出口です。

右上の写真は2019年11月開業の渋谷駅直結の複合施設型超高層ビル「渋谷スクランブルスクエア 東棟」です。現在の渋谷エリアで最も高いビルになりました。45階・46階には展望施設(有料)があります。2027年中央棟・西棟が出来る予定です。

バーチャルウォーク「奥州街道を竜飛岬まで」の途中経過も報告します。

[白根記念 渋谷区郷土資料館・文学館] 渋谷区東4-9-1

最寄駅 JR 渋谷駅東口

渋谷警察署前の明治通りを恵比寿方面へ進み、東交番交差点を左折し直進、國學院大学博物館を通り過ぎた右側にあります。寅次郎は渋谷警察署の先を左折さらに右折して「金玉八幡宮」(こぼれ話参照)に立ち寄り、お参りのコースで行きました。1970年(昭和45年)区立館内に設置された「郷土資料室」が1974年(昭和49年)故白根全忠氏より寄贈された現在地に「渋谷区立白根記念郷土文化館」が開設されました。



2006年(平成17年)全面的に改装、文学館の機能を合わせて、「白根記念渋谷区郷土博物館・文学館」として生まれ変わりました。(写真上左)。

2階は博物館展示で、江戸に接する都市近郊の地から都市化の波に巻き込まれ、郊外や都心から人が集まるターミナルとして繁栄、戦争の荒廃から復興した渋谷の姿を紹介しています。写真下左は展示室入口の当時の渋谷駅とハチ公で展示室内はほとんど撮影不可でした。



地下2階は文学館展示で、渋谷ゆかりの文学者を渋谷に居住した順に紹介する「通史展示」とテーマを絞った「トピック展示」です。テーマは「東京新詩社と明星」、「渋谷のアララギ歌人」、「渋谷の自然主義作家」でした。1階の特別展示は〔与謝野晶子と文芸誌―「明星」から「冬柏」まで―〕で2021年1月11日までです。

与謝野晶子は1901年（明治34年）に故郷の大阪・堺から上京し、渋谷に居住していた東京新詩社の創設者である歌人・与謝野寛（鉄幹）の元で第一歌集「みだれ髪」を刊行しました。その後、寛と結婚した晶子は約7年半を渋谷で暮らしました。晶子が関わった文芸誌「明星」、「スバル」、「冬柏」を中心に晶子の文学活動が紹介されていました。

開館は11時～17時（金曜日は～19時、土曜日は9時～）。休館日は月曜日（休日の場合は直後の休日以外の日）、年末年始です。

入館料は一般100円（60歳以上は無料）、小中学生50円です。

〔**國學院大学博物館**〕 渋谷区東4-10-28 最寄駅 JR 渋谷駅東口

新型コロナウイルス感染拡大予防で多くの大学は関係者以外の構内立ち入りが禁止されていますが、「國學院博物館」は11月5日から日時短縮して開館しました。



当面の間の開館日は毎週水・木・金・土の週4日ですが、12月27日～1月12日、1月16日、2月3日～2月4日、3月3日を除きます。開館時間は12時～17時です。

長い伝統を持つ日本文化と、その精神性「心」を、「モノ」から明らかにし、多くの方々に知っていただく、ここに國學院

博物館の目的があります。常設展は考古展示（写真下左）、校史展示（写真下右）、神道展示（撮影不可）、に分かれています。考古展示品の多さには驚きます。寅次郎、神道展示では皇位継承の際に行われた「大嘗祭」について訪問して学んだことを思い出します（学食に行ったついででしたが・・・）。訪問時、関係者以外は構内立ち入り禁止で学食には行けません。

訪問時の企画展は「楽石雑筆」で神道考古学の祖 大場磐雄の記憶と記録（12月26日まで）でした。

2021年1月13日～2月27日の企画展は江戸のベストラー「唐詩選」です。



寅さん歩 207 東京の学食めぐり-13 をご参照ください。

**[塙 保己一史料館]** 渋谷区東 2-9-1 最寄駅 JR 渋谷駅東口

國學院大学博物館前の交差点を氷川神社沿いに前に進むと右側にあります。



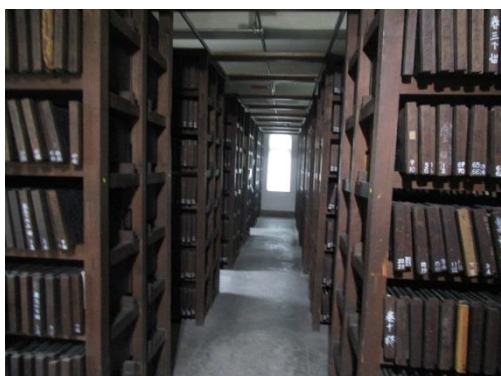
写真左は「塙 保己一史料館」の入り口です。

塙 保己一（はなわ ほきいち）は埼玉県本庄生まれで「盲目の国学者」だとは寅次郎、知っていましたが、こんなにすごい方とは今回初めて知りました。幼名はなんと「寅次郎」、7歳で失明し、回復を祈り「辰次郎」と改名されたそうです。

手に指で書いてもらい文字を覚え、手で触り・匂いで動植物を見極め、読んでもらった6万冊の書物を暗記したとの驚異的な記憶力には驚きました。

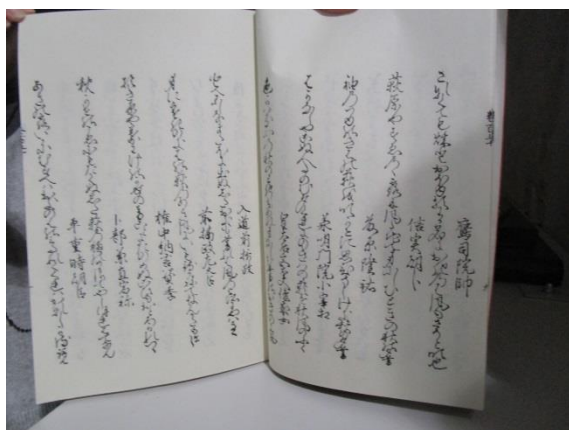
江戸に出て1793年（寛政5年）「和学講談所」を設立、「群書類従」（飛鳥時代～江戸時代の散逸の

恐れのある書籍・文献を40年かけて666冊にまとめた）を編纂したとのこと。



「和学講談所」が保管の数多くの文献には小笠原諸島は日本の国土と書かれた文献があり、幕末の諸外国による干渉から小笠原諸島が守られたそうです。

展示は1階のみですが親切に案内していただきました。写真上左は「群書類従の版木倉庫」（重要文化財 17,244 枚）、写真上右は「群書類従の版木」です。



写真上左は版木を墨で摺った「群書類従」のサンプルです。三重苦の聖女ヘレン・ケラーが1937年（昭和12年）4月26日に来日、塙保己一の像（写真上右）にお会いし、「私は母から、塙先生をお手本にしてください、と言われて育ちました。今日、塙先生の御像に触れることが出来たことは、日本に来てもとても有意義なことと思います。頭を傾けておられる敬虔なお姿と、手垢の染みのお肌に、心から尊敬を覚えました。先生の御名は、流れる水のように永遠に伝わることでしょう」と話されたそうです。ヘレン・ケラーの手の触感の凄さに驚きました。

開館は月曜～金曜、9時～17時。年末年始は原則休みです。入館料は大人100円（中学生まで無料）です。

**[エビスビール記念館]** 渋谷区恵比寿4-20-1 恵比寿ガーデンプレイス内

最寄駅 JR恵比寿駅

駅より動く通路（恵比寿スカイウォーク）を利用し恵比寿ガーデンプレイスへ。

「エスビー記念館」はスロープを下った左側（写真下左）、を入って進むと入口（写真下右）です。ここはかつてのサッポロビールの工場跡地で、前身は日本麦酒醸造株式会社で1889年（明治22年）に設立、「恵比寿ビール」を販売、駅の名前にもなりました。「恵比寿ビール」生誕120年の節目に「エビスビール記念館」がオープンしました。



ギャラリー内では恵比寿ビール（サッポロビール）の歴史が展示されています。



入館は無料ですが、大人 500 円で試飲付き（ビール 2 種の飲み比べ）40 分のエビスツアーがあります。開館は 11 時～19 時（ツアー最終回は 17 時 10 分）です。休館日は月曜日（休日の場合は翌日）です。

【こぼれ話－1】 金王八幡宮

渋谷区渋谷 3-5-12

1092年（寛治6年）に渋谷氏の祖・河崎基家が創建したと伝えられる古社。

この一帯は渋谷氏が居城を築き境内に石垣の大石が残されています。「渋谷八幡宮」と呼んでいましたが、基家の子・重家の嫡男 金王丸の名声にちなんで「金王八幡宮」と称するようになったとのこと。境内には源頼朝が父・義朝に仕えていた金王丸を偲んで植えた「金王桜」（一枝に一重と八重が混じって咲く珍しい桜）があります。写真下左は社殿、写真下右は金王丸御影堂です。金王丸は義朝に従い保元の乱に出陣、平治の乱の後、出家し土佐坊昌俊と称して、1185年（文治元年）心ならずも義経館に討ち入り、勇ましい最期を遂げています。



## 〔こぼれ話－2〕 温故学会 渋谷区東 2-9-1

「塙保己一」の業績と人となりを伝える目的で、曾孫の塙忠雄、実業家の渋谷栄一らによって1909年（明治42年）に創立された学術文化団体（公益社団法人）です。

塙 保己一の遺業顕彰のため「群書類従」版木の保管と摺り立て頒布、史料館の管理、温故書誌ほか図書の発刊、文化講座などの事業を行っています。

1927年（昭和2年）竣工した温故学会会館（塙 保己一史料館含む）の建物は建築で「登録有形文化財」に指定されています。

## 〔バーチャルウォーク途中報告〕

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ

「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「日光道中二十一次」を終え、宇都宮に戻り、バーチャルウォーク「奥州街道を竜飛岬まで」に挑戦です。

「奥州街道」の日本橋から宇都宮までは「日光街道（道中）」と共用なので宇都

宮を出発点としました。2020年12月23日栃木県宇都宮市を出立、2021年1月30日、福島県郡山市に到着しました。新型コロナウイルス拡大防止の緊急事態宣言発出中なのでお散歩の距離は伸びません。

新型コロナウイルス感染拡大で例会が中止となっています、運動不足にならないように自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」には「ひとりで歩くコーナー」があり、コースが紹介されています。マイお散歩や一人歩きでの距離を累計して進む「バーチャルコース」が多く掲載されていますのでご利用ください。歩く際は密閉・密集・密接の3密にならないようご注意ください！

今回は 東京の博物館めぐりー42 です。

平野 寅次郎 拝